

最終号

津幡町の子どもたち  
の育つ環境を考える  
700人委員会

2007年4月14日発行

ホームページ <http://www.geocities.jp/child700/index.htm>

## 「県議選で負けたからボートピア反対派も、 もうあきらめるだろう」と、

言っている人たちがいます。違います！私たちはあきらめてもいなければ、負けたとも思っていません。確かに私たちは力不足でしたが、20名にも満たない主婦の力でよくもあそこまでがんばれたものと、元気いっぱいです。ボートピア反対の署名をいただいた 14,561 名の方々の気持ちを考えるとき、絶対にあきらめることはできないと思っています。

私たちがボートピア反対の署名をいただきにまわり、その署名を町議会に提出し、反対の請願をしたにもかかわらず、それらが全て不採択になった過程でおかしいと思ったこと、感じたことがいくつかあります。



選挙のお願いの時に言うことと、その後の言動が





以上は、4年前の選挙で、ポートピア賛成派の議員候補者が選挙公報に載せた文言です。これら賛成派議員の目や耳には 14,561 名の声は小さすぎて届かないのでしょうか。そんなはずはありません。わかっていて無視をするのです。**小さな声、あなたの声、地域の声**、とはいって誰の声のことでしょうか。

### 疑惑その2

**なぜ、津幡町のPTA、婦人会、防犯委員の方々は、ポートピア(ギャンブル場)に関して沈黙しているのでしょうか？**

これまで、石川県内でポートピア計画が起きた地域は、20ヶ所近くにのぼります。そのほとんどの地域では、PTA、婦人会、防犯委員の方々が反対運動の先頭に立って計画を立ち消えにしました。ポートピアは地域の防犯、安全に深く関わる問題なのに、この津幡町の状況は全く理解できません。津幡町では、どこから圧力がかかるのでしょうか。

### 疑惑その3

**財政が苦しいのは、津幡町だけなのでしょうか？**

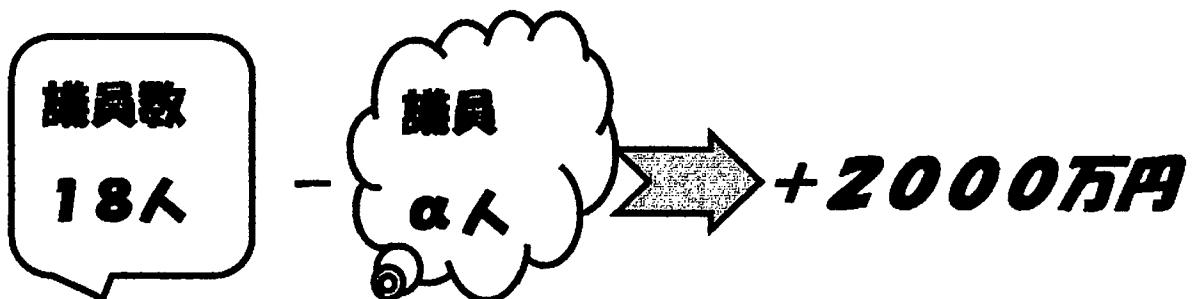
全ての市町村が苦しんでいます。ではなぜ津幡町だけポートピアが作られる

のでしょうか。それは、誰かが、町長と議員の多くは賛成するだろうし、町民もおとなしいから仮に反対しても無視できると、判断したからです。津幡町でも潟端地区に同様の話がありましたが、住民の反対で消滅しました。

ふところが苦しいからといってギャンブルに手を出すのは正しい選択とは思えません。個人も、町も一緒です。ムダを省き、節約することが何よりも大事なことではないでしょうか？

広報つばた4月号によれば、平成19年度予算に議会費として1億3000万円計上されています。そのほとんどが議員の歳費と関連費用です。私たちは考えるようになりました。議場で居眠りをし、採決のときにだけ手を挙げる、そして、住民の大きな声をわかっていながら無視するような、やる気のない議員はいりません。

議員を数名減らすだけで、確実に2000万円町の財政は楽になります。ギャンブルからの不確定な2400万円を当てにするよりも、健全な2000万円を選ぶべきではないでしょうか。



または、入札制度を改善すれば、工事費が安くなるなど、財政を見直す方法は、他にもあるはずです。

私たちは知っています。福島県で、合併もせず、議員の数を18名から10名に減らし、財政を立て直した矢祭町があることを。そしてその町では住民票の発行などを休日でも行っており、かえって住民サービスが向上したこと。



舟橋区の同意の取り方に疑惑あり、

**時期？総会？業者・議員の出席？情報開示にも NO！**

舟橋地区で同意が取られたのは、2年前の平成17年5月だった。しかし、町議会に請願が出され採決されたのは、平成18年6月議会だった。空白の1年間は、何だったのか。

「総会」で同意を得たと聞いていたが、**実は、「説明会」であった。**しかも、その説明会には、業者と議員が同席していた。その中の挙手による採決は、強引といわざるを得ない。

また、これらの疑惑を明らかにするため、舟橋区の区長に情報開示を求めたが、拒否された。**明らかにできない何かが存在するのか？**

## 誰か、疑惑の真相を 私たちに教えてください！！

### 《あなたも声をあげましよう！》

何もないことはボートピア（ギャンブル場）を認めることに繋がります。私たちはみなさまの良識信じています。今からでも遅くはありません。ボートピアは町のためにならないと声を上げてください。

懇意にしている賛成派議員がいる方はボートピアを見直すよう、どうかお話ししてください。

#### 【編集後記】

私たち700人委員会は、昨年10月からボートピアを止めるために、署名活動、議会への請願、ニュースレターの発行などの活動をしてきましたが、今回のニュースレター最終号をもって、700人委員会は解散させていただきます。

これまで、お読みいただき、また、ご協力をいただき本当にありがとうございました。今後は、「風」実行委員会として、これまで同様、あきらめることなく、ボートピアを止めるため活動を続け、町議選にも臨みます。引き続き、「風」実行委員会の活動を、応援してくださるようお願いいたします